[油ヶ淵水辺公園]

油ヶ淵の自然と歴史
未来へつなぐ水辺風景の創造

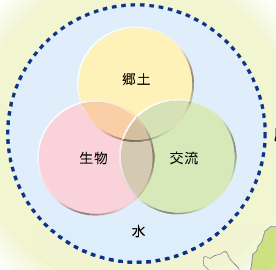
油ヶ淵水辺公園は、愛知県で唯一の天然湖沼であり広々とした水面を持つ油ヶ淵とその周辺を含めた区域に、西三河で唯一の県営都市公園として、平成17年10月18日に都市計画決定されています。(最新:平成23年8月16日)

さらに、平成18年3月31日には、都市計画事業認可(都市計画法第59条に規定される都市計画事業実施のために必要となる認可)を受けています。(最新:平成29年3月23日)

現在、油ヶ淵水辺公園が、自然とのふれあいの場、憩いの場及び市民の協働の場となり、愛着の持てる公園となるよう、第一期整備区域の整備を進めています。

■概念図

水と共に生きてきた郷土、水辺の環境、水辺の交流など、「水」を基調として「郷土」、「生物」、「交流」の各要素を積上げ、油ヶ淵の風景の創造を図る。



■油ヶ淵水辺公園位置図

■都市計画決定及び第一期整備区域の面積 (H29.3末現在)

区　域		都市計画決定区域	第一期整備区域
全面積(内水面)		139.9 ha (63.7 ha)	35.7 ha (堤防を含む)
内訳	碧南市	45.2 ha (水面を除く)	14.8 ha
	安城市	31.0 ha (水面を除く)	20.9 ha

Bエリア

▲ぶらリン広場 遊具

▲ケヤキ並木プロムナード

▲田んぼでの田植え(県民との協働作業)

Eエリア

▲桃の園 四阿

▲ハス池

▲ドングリの丘での植樹(県民との協働作業)

[区 域 図]